

JBBP 入学定員における「セットアサイド」

新しく取り入れられた JBBP 入学定員の「セットアサイド」とは何ですか？

サンフランシスコ教育委員会は、クラレンドン校とローザ・パークス校の日本語日本文化プログラム(JBBP)に対し、それぞれのプログラムに日本語が堪能な児童のための入学枠を設定することにいたしました。定員の 44 席のうち最大 10 席までは、教育委員会のアセスメント（評価）により、一定のレベル以上の日本語会話能力を持つと認められた児童のための入学枠（セットアサイド）となります。定員の 44 席のうち残りの 34 席は、日本語が堪能ではない児童のための入学枠となります。このセットアサイド制度は、キンダーガーデン入学時のみ導入されます。

なぜ JBBP がセットアサイドを実施するようになったのですか？

このセットアサイドは、クラレンドン校におけるピアモデル（日本語が話せる児童がリーダーとしてお手本を示す）日本語学習法を支援するために設定され、ローザ・パークス校にも同じセットアサイドが導入されることになりました。

学区の他の外国語学習プログラムにも同様のセットアサイドがありますか？

同様のセットアサイドは、サンフランシスコ教育区内の双方向性イマージョン・プログラム (Dual Immersion Program) において、すでに導入されています。イマージョン・プログラム以外の外国語学習プログラムでセットアサイドが適用されるのは、今回が初めてです。

セットアサイドの人数枠に受け入れられる基準として日本人／日系人であるということが必要ですか？

いいえ。誰でも教育委員会による日本語アセスメント（評価）を受け、一定レベル以上の日本語会話能力を持つとみなされれば、セットアサイド枠の候補者になることができます。

日本語が堪能な児童の枠、堪能ではない児童の枠の双方に応募できますか？

いいえ、いずれか一つの枠に分類されます。ローザ・パークス校、クラレンドン校に関してはその内一校、あるいは両校の JBBP に応募することができます。日本語アセスメントの結果、適用される枠の中で、希望される JBBP プログラムに応募されることとなります。

入学者選出の際の優先権である「タイブレーカー」とセットアサイドの仕組みはどのように作用しますか？例えば、兄弟が在学中である場合は、日本語が堪能でなくても日本語のレベルが高い子供より優先的に受け入れられますか？

入学申し込みは、まず日本語が堪能な児童、日本語が堪能ではない児童の二つの枠に分類され、それぞれの枠組みの中で別個に選出が行われます。いずれの枠においても、兄弟がすでにその学校に在籍している子供には、兄弟タイブレーカーが与えられます。その場合、この子供達はそれぞれの受け入れ枠の中で、タイブレーカーを持たない子供より入学選出の優先順位が高くなります。これは City-wide school (自宅住所が優先順位に適用されない学校) での他のタイブレーカー（兄弟、PreK や特別指定区域居住など）の適用方法と同様です。

セットアサイドによる受け入れ人数枠が一杯にならない場合は？人数枠に空きが出たままになりますか？

セットアサイドは、JBBP で日本語を話せる 10 名の児童をピアモデルとして確保することをねらいとしています。スタッフは、各プログラムにおいて何名の児童がセットアサイドの受け入れ基準を満たしたかを審査します。満たされなかったセットアサイドの席は初登校日前に日本語が堪能ではない児童枠に切り替えられます。

学年度の途中で日本語が堪能な児童が転校した場合、その代わりに転入する生徒は、日本語が堪能でなくてははいけませんか？

いいえ、日本語が堪能な児童でも、日本語が堪能ではない児童でも、代わりに転入することが可能です。

日本語能力の評価方法

子供の日本語能力はどのように評価されますか？

家庭で使用される言語に関する調査（入学申込書）で日本語を選択し、なおかつ入学申込書に JBBP を一つでも入学希望校として載せた場合は、日本語のアセスメント（評価）を受ける手続きがなされます。また、家庭で使用される言語として日本語を選択していない場合でも、両親／保護者が子供の日本語アセスメントを要請することもできます。アセスメントの時間制限はなく、両親／保護者に評価の結果をなるべく早くお知らせします。

どのようなアセスメント方法が用いられますか？また、評価はどのように行われますか？

アセスメントは日本語で行われ、日本語を話す力を判定します。アセスメントに読み書きは含まれません。日本語が堪能な教育委員会のスタッフがお子さんと一対一でアセスメントを行います。

子供は日本語が堪能ではないのですが、JBBP に申し込めますか？

はい。申し込むことができます。日本語が堪能ではない子供の受け入れ枠（定員 44 人のうちの 34 人）に振り分けられます。

私の子供は日本語が話せますが、兄弟が在学中なので入学優先権もあります。その場合も語学力評価を受ける必要はありますか？

兄弟であっても日本語能力は別々に評価されます。適切な入学枠に受け入れられるように日本語のアセスメントを受ける必要があります。どちらの枠に受け入れられた場合も兄弟が在籍するタイブレーカーによって優先権があります。

子供が語学能力評価を結果、日本語が堪能ではないと判断された場合はどうなりますか？

日本語が堪能ではない枠に、自動的に振り分けられます。